

公文書改ざん、ウソとごまかしの安倍政権

憲法を勝手に変えるなんて

森友疑惑にかかわる公文書の改ざんは、14文書300か所。国民共有の「知的資源」である公文書が改ざんされて、「国権の最高機関」である国会に提出されていました。国会と国民をだまし続けた犯罪行為であり、国会と国民を愚弄する行為です。絶対に許されません。こんなことがまかり通れば、民主主義は土台から崩壊してしまいます。

憲法を守らない安倍首相は、事件の責任をとらないまま、今国会で、改憲案の提出をねらっています。改憲より先に、やるべきことがあるはず。そもそも、安倍首相に改憲を言いだす資格はありません。

森友・加計疑惑、公文書改ざん 徹底追及で安倍内閣総辞職へ

国民の財産である国有地が、8億円も値引きされた森友疑惑。安倍昭恵・首相夫人の関与が疑われています。ところが、安倍首相と昭恵夫人の名前と行動が削除されるなど、公文書が大きく改ざんされていました。いつ、誰が、どのようにして、何のために改ざんしたのか、明らかにされなければなりません。

森友疑惑・加計疑惑をはじめ、特定の人のためだけの政治は、もう終わらせなければなりません。そのためには、徹底した真相究明が求められます。野党の結束した追及と市民の世論で、安倍内閣を総辞職に追い込みましょう。

自衛隊員も青年も戦場に送らない、安倍9条改憲NO!

内閣支持率が急落しています。ところが、安倍首相は、国民の批判に耳を貸さず、自民党大会(3/25)では「いよいよ憲法改正に取り組む時が来た」と9条改憲への執念をむき出しにしました。“二度と戦争しない。そのために戦力を保持しない”と決めた憲法9条に、「9条の2」を書き加えて「自衛隊」を明記しようと狙っています。

書き込まれる「自衛隊」は、災害救助で頑張る自衛隊ではありません。集団的自衛権を行使して、“海外で米軍と一緒に武力を行使する自衛隊”を憲法に明記して認めようというのです。自衛隊員を“殺し殺される”戦場に送ることになってしまいます。

トンデモナイ!



武力で平和はつukれない くらし優先・平和外交の道を

安倍9条改憲は、日本を「戦争しない国」から「戦争する国」へと180度変えてしまいます。今年の防衛予算は、攻撃用の武器購入が増え過去最高の5兆2千億円。これがさらに増やされ、福祉や教育予算はバツサリ削減。産業や研究・教育も軍事優先、基本的人権の制限も…。こんな9条破壊＝「戦争する国」への道を止めましょう。

オリンピックを契機に、朝鮮半島も対話に向かって歩みだしています。日本国憲法を生かした、くらし優先・平和外交の道こそ、日本の未来を拓くのではないのでしょうか。

「安倍9条改憲NO! 3000万人署名」で
戦争への道をストップ